

(学年) 第2学年、(教科・科目) 英語

一斉学習

(単元) PROGRAM 5

(本時のねらい)

本文の内容をもとに職業体験に関する情報や感想を伝えるなど、教員の質問に対して適切に応答することができる。(「話すこと [発表] イ」、「話すこと [やり取り] ア」)

(ICT活用方法)

デジタル教科書の写真を利用したり、リスニングを通して内容を想像させたりして、最初に生徒の興味関心を高める。単元のまとめでは、実際に職場体験をした後なので、職場で経験したことをクラスで共有できるように、振り返りをさせて英語で簡単に表現させる。その後、一人一台端末を用いて自分自身のスピーキングを録画し、グループでその動画を共有し、話し合う。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 10分	・教科書の写真や動画を見て THINK の内容を想像する。	・職場体験の写真を提示しながら興味をもたせる。	・表現が楽しみになるように写真や動画を効果的に提示する。
展開 25分	・職場体験での感想や情報をまとめる。 ・自分が書いた文を話す姿を個々の一人一台端末で録画する。	・職場体験でよく使う英語表現に慣れさせる。 ・録画する時のポイント(目線や声の大きさ)を注意する。	・教員が例となる動画を見せる。 ・納得がいくまで撮り直しをし、練習をして一人一台端末に録画をして自分で確認をする。
まとめ 15分	・個人で録画した動画をグループで共有し、意見し合う。	・机間巡視をする。	・よいお手本となる動画を何本かクラス全体に紹介する。

（授業の様子）



職場体験についての動画や写真を見せながら興味関心をもたせた。



個人の録画の後、グループで動画を共有し、工夫した点や良かった点を確認させる。

（生徒の反応と課題、改善を要する点）

動画撮影は生徒の興味関心を引き出したり、状況の把握を助けたりすることに効果がある。また、それらを媒介として、生徒とのインタラクションを高めることにも役立つ。しかし、動画撮影においては練習不足などの課題があり、クラスやグループで共有する恥ずかしさを薄めることが難しい。よって、一人一台端末を使ったスピーキング指導には人前で話すことの習慣づけが必要である。